

ほぼ三人だけのキャストで、侵略の予兆というテーマに挑みました。ごく身近な人間が、家庭や職場が、世界全体がゆっくりと確実に変貌していきます。やがて誰もいなくなった街の中で、夏帆さん演じる主人公は何と直面し、どのような決意を持って先に進んでいくのでしょうか。壮大で身の毛のよだつ出来事が、可能な限りリアルに描写されています。ただし、これはあくまで映画です。ここで描かれていることが現実化しないことを望みます。

監督・黒沢清

映画『散歩する侵略者』から生まれた恐怖と驚愕の侵略サスペンス。



劇作家・前川知大率いる劇団「イクウメ」の人気舞台を、国内外で常に注目を集める黒沢清監督が映画化した『散歩する侵略者』。数日間の行方不明の後、夫が「侵略者」に乗っ取られて帰ってくる、という大胆なアイデアをもとに描かれたこの作品は、迫りくる侵略のサスペンスと壮大な愛の物語を見事に融合させ、全く新しいエンターテインメントとして大ヒットを記録した。

同じとき――

「侵略者」がやってきたそのとき、別の街では何が起きていたのか？ 黒沢のそんな着想から生まれた本作では、新たな設定、キャストでアナザーストーリーが語られてゆく。

監督を務めるのは映画『散歩する侵略者』と同じく黒沢清。黒沢とともに脚本を担当したのは『リング』シリーズを手掛け、世界にJホラーブームを巻き起こした高橋洋。『蛇の道』(98)以来の黒沢とのタッグで、不穏な空気が渦巻く恐怖と驚愕の世界を見事に作り上げた。

そんな黒沢ワールドに集結したのは夏帆、染谷将太、東出昌大ら、人気・実力を兼ね備えた豪華キャスト。黒沢に「神がかった熱演」と言わしめた彼らの演技から目が離せない。

常軌を逸していく世界で、ただひとつ揺らがないものは――

今、新たな物語が始まる。

夏帆
染谷将太
東出昌大

中村映里子
岸井ゆきの
安井順平
石橋けい
吉岡睦雄
大塚ヒロタ

千葉哲也
諏訪太朗
渡辺真起子
中村まこと

大杉 漣

STORY | 山際悦子(夏帆)は、同僚の浅川みゆき(岸井ゆきの)から、「家に幽霊がいる」と告白される。みゆきの自宅に行くとそこには実の父親がいるだけだった。みゆきの精神状態を心配した悦子は、夫・辰雄(染谷将太)の勤める病院の心療内科へみゆきを連れていく。診察の結果、みゆきは「家族」という概念が欠落していることが分かる。帰宅した悦子は、辰雄に病院で紹介された新任の外科医・真壁司郎(東出昌大)に違和感を抱いたことを話すが、辰雄からは素っ気ない返事のみ。常に真壁と行動をともにする辰雄が精神的に追い詰められていく様子に、悦子は得体の知れない不安を抱くようになる。ある日、悦子は病院で辰雄と一緒にいた真壁から「地球を侵略しに来た」と告げられる。冗談とも本気ともつかない告白に、悦子は自分の身の周りで次々に起こる異変に、真壁が関与しているのではないかと疑い始める。

原作：前川知大「散歩する侵略者」
監督：黒沢清(『散歩する侵略者』『クリーピー 偽りの隣人』『岸辺の旅』)
脚本：高橋洋(映画『リング』シリーズ、『蛇の道』) 黒沢清
音楽：林祐介(『散歩する侵略者』連続ドラマW「贖罪」)
配給：ポニーキャニオン

©2017「散歩する侵略者」スピンオフプロジェクト パートナース

W.O.W.O.W

yocho-movie.jp

11.11sat 公開

劇場内での映画の
撮影・録音は犯罪です
www.sigakan.org
0120-550098